

質問・意見回答書

資料 1

1. 1章についての質問・意見

審議会委員から、書面で提出された質問・意見への回答

番号	該当箇所	質問・意見内容
1	施策 1-1-5	<p>米沢市で稼働率が高く、大成功している施設は多目的運動場だと思います。理由として下記4つが挙げられます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、室内で天候に左右されない。冬場も使える。 2、床がオムニ（人口芝）であり高齢者の体（膝等）に優しい。 3、一般人が優先であり、小中学生に独占されない。 4、テニス、フットサル、ゲートボール、グランドゴルフなど複数の競技に使用できる。 <p>この成功例が米沢のスポーツ施設のキーワードだと思います。例えば、八幡原のテニスコートを直すのも良いですが、床は少なくともコンクリートではなく、オムニにすべきだと思います。小中学生の父兄の要望だけではなく、アンケートなどで、幅広く一般人の意見に耳を傾けるべきだと思います。</p>
	スポーツ施設	
	担当課： スポーツ課	
		<p>本市のスポーツ施設の多くで老朽化が進み、慢性的に修繕箇所が増加傾向にあります。このため、計画的な修繕を進めていますが、単に修繕するだけではなく、より利用しやすい施設となるよう配慮しながら取り組んでまいります。</p> <p>また、今後の施設の整備にあたっては、各種競技団体のみならず広く市民から意見をいただくことは重要だと思いますので、御指摘のとおり、機会をとらえてアンケートの実施などを検討し、多くの市民に利用される施設整備に取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>なお、こうした体育施設の修繕については、2章で取り組みます。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
2	施策 1-2-1	<p>1-3-4「都市と農村の交流」でも触れられてるようですが、観光は歴史・文化だけではなく、近年では産業ツーリズムや、グリーンツーリズム等もあるので、そういった可能性を秘めた観光基盤の研究開発及び整備にも言及したらどうでしょうか。</p>
	産業ツーリズムやグリーンツーリズムについて	

	担当課： 観光課	質問・意見への回答
		<p>近年では観光動機が多様化していることから、本計画の1-2-2「地域資源等を活用した観光基盤の整備」に記載いたしましたとおり、新たに本市ゆかりのアニメや漫画等、サブカルチャーを活用した事業に取り組みます。</p> <p>本市は、産業ツーリズムやグリーンツーリズムの観光素材にも恵まれていることから、米沢市まちづくり総合計画の下位計画であり、新たに策定いたします第4期米沢市観光振興計画に掲載を検討してまいります。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
3	施策 1-2	K P I の一つではあると思いますが、来訪人数だけでは表面的な感じがします。指標として、経済的な効果、消費金額調査についても今後検討して欲しいです。
	施策 1-2 の目指す目標値について	
	担当課： 観光課	質問・意見への回答
		<p>経済的な効果や観光消費額を KPI 指標にとのことですが、観光産業は裾野が広く、直接売上げのあった観光施設、店舗等といったところの最終需要のみならず、そのサービスを提供するための中間消費に係る需要部分、さらには雇用者などにおける給与所得にまで及ぶものであることから、捉え方が非常に難しく調査にも時間と費用がかかるものであります。</p> <p>しかしながら、様々な観光施策の効果を図るうえで有効な指標であるとも認識しておりますので、現時点での導入は厳しいですが、今後調査を進めてまいりたいと考えます。</p>

2. 3章についての質問・意見

審議会委員から、書面で提出された質問・意見への回答

番号	該当箇所	質問・意見内容
1	施策 3-2-4 もしくは 3-2-5	今回の新型コロナウイルス関連で、教育現場にも混乱が見られました。今後、また感染症の影響がないとも言い切れないので、オンライン授業等の推進も検討してみてはどうでしょうか。
	オンライン授業の推進	
	担当課： 学校教育課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>今回のように感染症影響による特別な臨時休校措置が行われる場合、家庭でのICTを活用した学習は非常に有効です。施策での取組 6-1-2「情報教育の推進」において、GIGAスクール構想の実現を目指すことを記載しますが、これは、児童生徒一人一台端末の整備等を行うものです。GIGAスクール構想を推進し、授業におけるICTの積極的活用によって児童生徒の活用能力を育成することで、家庭でのICTを活用した学習、オンライン授業等の推進につなげていきたいと考えています。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
2	施策 3-3-1	高齢者のデジタル・ディバイド（情報格差）が顕著になってきています。マイナンバーカードとスマートフォンを利用すれば、行政の事務効率も上がるので、高齢者のそういったデジタル支援にも取り組んで欲しいです。
	高齢者のデジタル支援	
	担当課： 社会教育課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>高齢者へのデジタル支援については、「生涯学習ガイドブック」により、様々な実施主体の講座について情報提供を行なうとともに、米沢鷹山大学事業の「市民おもしろなカレッジ」で、パソコン等の操作方法やプログラミング等を学ぶ講座を開催しています。</p> <p>市民、特に高齢者のニーズや課題に合わせた情報教育を行うことにより、デジタル・ディバイドの拡がりを抑えることができ、さらに、高齢者がコミュニケーションツールとしてパソコンやスマートフォン等を利用できるようになることで、社会からの孤立化の防止や、社会参加、生きがいづくりの推進にも繋がると考えられます。具体的には、施策 6-1-2「情報教育の推進」にて、取り組んでまいります。</p>

3. 4章についての質問・意見

審議会委員から、書面で提出された質問・意見への回答

番号	該当箇所	質問・意見内容
1	施策：4-1	市街地に空き家や、歯抜けとなる場所ができる一方、新興住宅地ができています。 新興住宅地は、見た目は良いが、高価なうえに雪片付けなどの配慮（川など）がなく、実際は住みづらいこともあるかと思えます。とかく若者は新築を望むようですが、中古住宅の良さ（とにかく安い）、旧街中の良さ（住みよい）を再認識してもらうように努力してほしいです。 そして、そういう土地の整備や、物件を勧めるようなシステムが出来てほしいです。また、雪の問題があり、除雪処理が広範囲にならないように新規住宅の場所に制限を設けるべきだと思います。
	住環境の整備推進	
	担当課： 都市整備課	質問・意見への回答
		市では、空き家改修補助金や、市街地で空き家が密集する小規模な区画を整理する事業等により、まちなかの土地・建物の利活用を推進しています。 ご意見いただきました市街地の拡大抑制を含めたまちなか居住の推進につきましては、現在策定中の「立地適正化計画」において検討してまいります。
番号	該当箇所	質問・意見内容
2	施策：4-2	立地適正化計画と連動すると思いますが、施策内容と目標値にズレがあるように思います。 施策に対する目標値であれば、空家活用件数や居住誘導区域における人口増、景観形成事業活用件数などがよろしいかと思えますがいかがでしょうか。
	4-2 目指す目標値について	
	担当課： 都市整備課	質問・意見への回答
		空き家の活用につきましては、施策4-1で目標値を掲げており、また、居住誘導区域における人口増につきましては、現在、策定中の立地適正化計画の中で検討させていただきたいと考えています。 施策4-2の目指す目標値としては、景観形成を推進するうえで、より活動の具体性が明確な「花と樹木におおわれたまちづくり」に関連する目標値としたいと考えていますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

番号	該当箇所	質問・意見内容
3	施策：4-2	<p>①現在の中心街である大型店が立ち並ぶ121号線沿い（ユニクロなどがある通り）が、南北に逃げる道路が少なく、渋滞が多すぎて効率が悪いように思います。これについては、道路を改善すべきだと思います。またここは大型店のみとするべきです。</p> <p>②一方、問題は旧中心街である平和通り付近です。さびれて見る影ありません。ここは駐車場に問題はありますが、場所は良いです。ここは市として駐車場を整備したうえで、地元の持続可能な商店を集め、仮称：米沢銀座、米沢横丁のような商店街にするように進めてほしいです。121号線大型店と「役目」の違う、活気ある地元商店街を作ってほしいです。</p>
	市内中心地について	
	担当課： 都市整備課	<p style="text-align: center;">(①について) 質問・意見への回答</p> <p>国道121号（成島町五差路から堀立川間）に接続する南北方向の都市計画道路（2路線）の計画がございましたが、現在のところ未整備となっております。都市計画道路の整備には膨大な事業費が必要となることから、現時点で速やかに事業を推進することは難しい状況です。市内道路の整備推進については、施策4-3-2に記載していますが、利便性や緊急性・費用対効果等も検討しながら包括的に取り組んでまいります。</p>
	担当課： 商工課	<p style="text-align: center;">(②について) 質問・意見への回答</p> <p>現在の平和通りは、相互扶助として組織された商店街の解散、商店の減少により昔の賑わいは影をひそめております。</p> <p>現在、本市では、個々の店舗の魅力を高めるため、各店の特色あるおすすめ商品や消費者のニーズを反映させた商品開発を行い、店舗自慢の逸品を広くPRする事業に対する支援や、商店街等が商店街の活性化を図るために行う各種イベントの開催や新商品の開発、販路拡大等の事業に対し支援等を実施しております。</p> <p>さらに、新たな地域経済活動の担い手を創出する事業として、創業予定のある人や事業の基本について学びたい事業者を対象に、知識の習得を目的とした「よねざわ創業塾」や、出店に向けた実践的な経営習得や試験開店等の機会を提供する「チャレンジショップ事業」を実施し、市内における創業希望者の発掘と育成を促進しており、今後も引き続き、個々の店舗や商店街、商工団体と連携しながら賑わいのある街づくりに向けて、各種事業を継続して実施していきたいと考えております。</p>

	<p>担当課： 総合政策課</p>	<p>まちなかの賑わいづくりは本市でも重要な課題であると感じております。そのため現在市では、市と商工会議所が事務局となって組織する、中心市街地活性化協議会(以下「中活協」という)を軸にまちなかでの賑わいづくりに取り組んでいます。</p> <p>中活協では、ナセBA等を活用して、市内の大学生等とともに毎年、定期的にイベントを企画実施しているほか、ナセBAの近くに整備した西條天満公園で開催される、沖縄まつりや音楽イベントなど、市民や各種団体が行う賑わい活動にも協力しながら、まちなかで多くの方々が交流していただける機会作りに力を注いでおります。</p> <p>この様な中、まちなかの優位性が再認識され、近年ではマンション建設が行われるなど、周辺環境も少しずつですが変わってきていると感じております。</p> <p>今後も引き続き、活性化に向けた取組みをし、賑わいづくりに努めていきたいと考えております。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
4	<p>施策： 4-2 (4-2-2)</p>	<p>この施策は未来への夢のある構想だと思うのですが、私にはビジュアル化したイメージが浮かびません。より具体性のある取組を掲げて欲しいと感じました。</p> <p>「コンパクトなまちづくり」とは、いわゆる「コンパクトシティ」の考え方なのでしょうか。ある新聞記事で民・公・学連携を知りました。既に推進事業の中に組み込まれているのかもしれませんが、このプロジェクト創設も一案だと思います。</p>
	コンパクトなまちづくりの推進	
	<p>担当課： 都市整備課・ 総合政策課</p>	<p>質問・意見への回答</p> <p>「コンパクトなまちづくり」は、生活サービス施設や住居等がまとまって立地することで、人口密度や都市機能を維持し、持続可能な都市構造を目指す方向性を示すものであり、「コンパクトシティ」と同義と捉えております。現在「コンパクトなまちづくり」に、公共交通の利便性向上を加えた「コンパクト・プラス・ネットワーク」の都市づくりを基本として「立地適正化計画」の策定を進めています。</p> <p>コンパクトなまちづくりに向けた取組として、立地適正化計画の策定を進めるほか、現在は、まちなかの魅力向上に取り組んでいるところです。</p> <p>具体的な取組としまして中活協が行っている賑わいづくりには、市や商工会議所だけではなく商業者や学生など、様々な方と協働で実施しています。</p>

		<p>近年の活動では、ナセBA周辺で「まちきれいプロジェクト」と称した植栽等の環境美化活動を毎年春の恒例行事として実施しているほか、小中学生を対象に自由研究相談や宿題相談や、お化け屋敷等のお楽しみ企画を組み合わせた「ナセBAで過ごす夏休み」というイベントも実施しておりますが、これらイベントは大学生を中心に中活協が協力して、企画・運営を行っています。</p> <p>その他にも中活協では、ナセBAを中心に徒歩10分圏内の飲食店をまとめた、「まちなかぶらっとランチマップ」を毎年夏頃に発行しております。このマップ作成に当たっては、各飲食店からランチを無料で提供していただき、学生たちが飲食店へランチの取材を行ったのち、その結果は中活協がまとめてパンフレットとして発行しています。</p> <p>この様に、商業者のほか本市の特徴でもある学生等、様々な方と協働で賑わいづくりに取り組んでいるなか、関係者から自発的な取組のアイデアもあげられているところです。</p> <p>総合計画では抽象的な記載とされているところですが、実際には多くの市民がまちなかでの活動に参加できる枠組みの構築や取組への支援などを通じて、関係者のアイデアを具現化しながら盛り上げていきたいと考えているところです。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
5	施策：4-2(4-2-2)	4-2-2に書かれた取組(土地利用・コンパクトなまちづくり・賑わいづくり等)は、とても良い事だと思います。上記に関連し、実際の実行例等がありましたら教えてください。
	コンパクトなまちづくりの推進	
	担当課： 総合政策課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>コンパクトなまちづくりの一環として、市では平成22年度から6年間かけて、ハード整備やソフト事業を組み合わせた都市再生整備計画事業を実施しました。</p> <p>主な事業としましては、ナセBAやまちなか駐車場、西條天満公園の整備や、ナセBA東側の市道の一方通行解除などのハード整備に、松が岬公園のライトアップや東寺町景観形成補助金等のソフト事業を加えた11事業の事業によって、まちなかの魅力向上を図ってきたところです。</p> <p>これらのハード施設は、造ることが目的ではなく、活かす取組みが重要であることから、現在中活協を中心に、活かす取組みとして各種ソフト事業を展開しているところです。</p> <p>中活協の主な取組としましては、前述の「まちきれいプロジ</p>

		<p>ェクト」や「ナセBAで過ごす夏休み」などのほか、近年では冬期の恒例企画となっている「竹あかり」があります。</p> <p>「竹あかり」は、上杉雪灯籠まつりに合わせて西條天満公園を会場に行っている事業で、竹を加工することで施されたデザインに明かりを灯す「竹あかり」を西條天満公園内に多数配置して、幻想的な雰囲気を作り上げる事業です。</p> <p>この事業は、企画や会場設営のメンバーに、口コミで有志の輪が広がっているほか、準備もワークショップ形式で行うなど、イベント当日までのプロセスの中で、様々な人が多様な形で関わることができる企画となっております。</p> <p>この様な取組などを通じて、徐々にではありますが関係者の輪を広げ、市民とともに賑わいを作り、まちなかの魅力向上を図っていきたいと考えているところです。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
6	施策：4-2-3	<p>米沢駅前の西側や伝国の杜東側の通りがすっきりと見えるのは、電線がないからです。雪対策も含め、電柱を無くしていくことは景観形成に有効だと考えます。膨大なコストがかかるとは思いますが、主要な場所からでも少しずつ進めることはできないでしょうか。</p>
	魅力ある景観形成の推進	
	担当課： 都市整備課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>無電柱化につきましては、景観のみならず防災対策上、有効な手段の一つと考えられますが、御意見のとおり、膨大なコストが生じることも事実です。実際に、道路管理者のみならず、電力会社等にも相当な負担額が生じることもあり、協議が進まない実情があります。</p> <p>費用負担等の課題はありますが、「米沢市景観計画」に無電柱化は必要な取組の一つである旨を、明記しているところであり、関係者に対し継続的に呼びかけていきたいと考えております。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
7	施策：4-3	<p>道路の計画はそれなりに正しいと思いますが、問題は時期だと思えます。優先的に「右折車線」を作ってほしいです。それにより、安全が確保され、ほぼ混雑はなくなると思えます。</p>
	道路整備について	
	担当課： 土木課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>御意見のとおり、新たに車線を整備することで、渋滞発生の緩和や交差点通過時間の短縮等の効果が期待されます。</p> <p>実際の動きとして、観光交通の要衝である丸の内交差点に右折レーンを整備する改良工事に着手しております。また、市役</p>

		所南側県道の交差点に左折レーンを整備するよう、県に働きかけを行うなど、引き続き混雑の解消に向けた取組みを進めてまいります。
番号	該当箇所	質問・意見内容
8	施策：4-3-2 (5-3-2)	通学路になっている歩道でさえ、冬期間は使用できない程に除雪効率の悪い場所が見られます。城下町ならではの道路状況もありますが、除雪排雪を考えた整備が必要だと思います。
	除排雪を考えた道路整備について	
	担当課： 土木課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>御意見のとおり、除排雪作業の効率性を勘案した道路整備の必要性については認識しているところです。</p> <p>しかしながら、道路幅員の狭い市街地内においては、十分な堆雪幅や歩道幅員等を確保するための整備に、費用と時間がかかることから難しい状況となっております。</p> <p>このようなことから、冬期間については、道路の堆雪状況を勘案しながら、必要な時期に道路幅を広げる拡幅除雪作業や、堆雪した雪を取り除く排雪作業を実施し、安全な通行確保に努めてまいります。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
9	施策：4-3-3 (5-2-1)	<p>①公共交通は積極的に利用してもらいたいと呼びかけるだけでは変化はもたらされないように思われます。</p> <p>利便性の向上に加えて利用して得られるメリット等のしくみづくりが必要になると考えられます。また安全のまちづくりの免許返納ともあわせて取り組んでいくことが重要ではないでしょうか。</p> <p>②また5-2-1では目標値に返納について記載しても良いように思いますがいかがでしょうか。</p>
	公共交通利用及び交通安全対策について	
	担当課： 総合政策課	<p style="text-align: center;">(①について) 質問・意見への回答</p> <p>御意見のように、利便性の向上のみにとらわれず、利用しやすくなるような仕組みといった視点についても今後検討してまいります。</p>
担当課： 環境生活課	<p style="text-align: center;">(②について) 質問・意見への回答</p> <p>本市では、高齢者の方々にもこれからも長く安全に自動車運転をしていただくため、高齢者を対象にした交通教室を実施しております。</p> <p>しかし、一方では、全国的に近年、高齢者の方が運転する車での事故が増加傾向にあり、免許を持っていても自動車等の運</p>	

		<p>転に不安を有する方や、家族から運転免許の返納を勧められている高齢者がおられることも事実です。</p> <p>高齢者運転免許自主返納事業については、こうした運転に不安な気持ちをお持ちの方の決断を後押しし、運転免許証を自主返納しやすくすることで、高齢者の交通事故防止を図る取組として実施しているところです。</p> <p>目標値に免許返納について記載してはとの御提案ですが、そうすることで本来まだまだ運転ができる方の免許返納を強く促しているとの誤解を生じさせる恐れがあり、目標値としての設定はなじまないと考えていますのでご理解くださいますようお願い申し上げます。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
10	施策：4-3-3	<p>①人口が著しく減少している山間部に住んでいる高齢者は、交通費がかかるため病院受診を見合わせる人もいるので、対応策を検討してほしいです。</p> <p>②また、免許証返納後のサポートをもう少し手厚くしてもらいたいです。</p>
	公共交通の充実について	
	担当課： 総合政策課	<p>(①について) 質問・意見への回答</p> <p>4-3-3「地域公共交通機関の充実」に記載している地域公共交通網形成計画の策定にあたっては、地域の現状や課題を丁寧に調査・分析しながら、利用者の目線に配慮した対応策を検討してまいります。</p>
	担当課： 環境生活課	<p>(②について) 質問・意見への回答</p> <p>免許返納後のサポートとして、市では、自主的に運転免許を返納する 65 歳以上の方に交通機関の回数券などを交付し、高齢運転者による交通事故防止のための取組として実施しています。</p> <p>サポートをより手厚くすることは、運転免許を返納する方の強い動機付けにはなるとは思われますが、一方でそもそも運転免許を持っていない人や、運転免許の有効期限の到来により自主的に更新せず、運転免許を失効した人との公平性を考えると難しい状況でありますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
	<p>施策：4-3-3 (5-2-1)</p> <p>高齢者の交通手段について</p>	<p>少子高齢化が進む中で高齢ドライバーの事故等も今後増えると考えられますが、一方で車がないと買い物にすら行けないのが現状です。地方都市だからこそ、この問題に対して取り組む</p>

11		べきだと考えますが、施策等はあるのでしょうか。
	担当課： 総合政策課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>御意見のように、高齢化や人口減少により、地域の足の確保の重要性はますます高まっていると考えています。</p> <p>高齢者の方の外出時における事故防止や買い物支援といった課題を解決すべく本市ではこれまで、民間事業者の参入が難しい地域において、順次市民バスや乗合タクシーを導入してまいりましたが、今後、4-3-3「公共交通機関の充実」に記載している地域公共交通網形成計画の策定に際し、これらの課題について、より効果的な施策の検討をさらに行っていきたいと考えております。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
12	施策：4-4-3	<p>松川の水質が改善され、魚が少しずつ戻ってきています。内水面試験場の協力を得て、PTA活動として稚魚の放流も経験しました。水生動物が身近に観察できることは、子ども達の水に対する意識向上にとって、重要な要素であり、郷土を愛する心を育てることにつながります。河川公園の保持管理と合わせ、専門機関との連携を図り、持続的に水辺環境の整備にあたることは大切かと思えます。</p>
	河川の水質保全	
	担当課：都市整備課・業務課・環境生活課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>市でも、水辺環境整備の重要性は感じております。都市公園として供用している、最上川上流河川緑地及び最上川窪田・上郷地区河川緑地（水辺の楽校）については、今後も継続的な維持管理を行うとともに、河川管理者と連携し水辺環境の保全と整備に努めてまいります。</p> <p>また引き続き公共下水道への接続や合併処理浄化槽への転換を促す等の生活排水対策の充実、水質保全の啓発活動や、川をきれいにする児童図画作品募集などの各種広報活動も実施し、更なる水辺環境の整備に繋げていきます。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
13	施策：4-5-5	<p>家庭で過ごす時間が今後増えると仮定すれば、ごみの量も相対的に増えると想定されます。家庭ごみを減少させる施策も必要ではないでしょうか。</p>
	家庭ごみ減少に向けた施策	
	担当課：	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p>

	<p>環境生活課</p>	<p>家庭ごみの減量化について、市では、家庭におけるごみと資源物の分別を徹底することにより、ごみ減量化と再資源化の推進を図るため、米沢市衛生組合連合会と連携して、啓発チラシの配布や出前講座などの取り組みを実施しております。今後も、4-5-1「環境保全意識の高揚」、及び4-5-4「省資源・循環型社会の構築」に記載のとおり、包括的に取り組んでまいります。</p> <p>新型コロナウイルス感染症をはじめとする様々な要因によって、今後、市民のライフスタイルが大きく変化していくことが予想されます。これに伴い、家庭から出るごみの種類や量が変わることも十分考えられますので、市としても、排出の傾向を把握するとともに、情報収集に努め、更なるごみ減量につながる施策について検討していきたいと考えております。</p>
--	--------------	---

4. 5章についての質問・意見

番号	該当箇所	質問・意見内容
1	施策：5-1	<p>記載されているとおり、昨今の災害状況をふまえて備えるまちづくりが大変重要になろうかと思えます。</p> <p>体制の整備・強化など様々な対応策が講じられていますが、市民にとっては避難所や最新情報へのアクセスが重要になると思えます。</p> <p>主な事業には、災害状況別（地震、水害、感染症等）の防災拠点の整備、情報発信等について加え重点的に取り組むことが必要だと考えますがいかがでしょうか。</p>
	災害対策について	
	担当課： 環境生活課（危機管理室）	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>災害時における地域の防災拠点となる施設の整備は重要であると考えており、避難所となる学校やコミュニティセンターの整備は、老朽化しているところから順次取り組んでいるところです。具体的には、施策6-3の主な事業及び、6-3-4「コミュニティセンターの整備と活用促進」で記載しております。</p> <p>令和2年4月に全戸配布した「防災マップ（P.10）」には、災害の種類別に使用できる避難所を記載しておりますが、平成28年から平成31年にかけて国や県が管理する河川の浸水想定区域の見直しがなされ、洪水時に浸水が想定される公共施設が多数あることから、市民に対して早めの避難行動を促すための情報発信は特に重要であると考えております。</p> <p>今後は、新庁舎に整備する総合防災システムにより、市内の河川水位情報や降雨量の把握が容易になることから、防災ラジオや同報系無線、LINE等の情報発信ツールをフルに活用し、災害に強いまちづくりに努めてまいります。なお、情報発信について主な事業には記載しておりませんが、ご意見を受け、施策での取組5-1-4「災害時等における適切な情報の発信」として、より詳細な記載へ変更いたしました。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
2	施策：5-1	<p>自治体版、BCP（事業継続計画）の策定と運用が急務であると考えます。感染症だけではなく今後数年内に大規模地震があると想定し、対処をしていけなければならないと思えます。</p>
	事業継続計画について	
	担当課：	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p>

	環境生活課（危機管理室）	<p>大規模災害を想定した本市の業務継続計画は、平成30年3月に策定しておりますが、新庁舎に移転する令和3年度に大幅な組織改正が予定されていることから、職員数に応じた非常時優先業務や業務開始目標時間などの見直しをする予定としております。</p> <p>今後も引き続き、大規模災害の発生により市役所機能が低下する中であっても、市民の生命・身体及び財産を保護し、市民生活への影響を最小限とするよう、迅速に災害対応業務を開始するとともに、最低限の行政サービスを維持しつつ、可能なかぎり早期に通常業務を復旧できるよう努めてまいります。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
3	施策：5-1-4	感染症に関して、情報提供はもとより明確な対策発信のより強いメッセージ掲示（別項目取組）が必要ではないかと思われました。
	感染症対策について	
	担当課： 健康課・環境生活課（危機管理室）	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>委員のご意見を踏まえ、施策5-1の現状と課題に、新型コロナウイルス等の感染症についての記載を追記しました。</p> <p>市民が知りたい情報は、感染症の特徴、感染情報、医療体制に関する情報、生活関連情報など多岐にわたりますが、5-1-4「災害時等における適切な情報の発信」において、新たに感染症への情報発信についての記載を追加しました。</p> <p>また、有事に備えてマスク・消毒液等の備蓄を行うことが必要であることから、感染症の流行に備えた衛生用品の備蓄に対する周知・啓発についての記載を追加しました。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
4	施策：5-1	今回のコロナの様な事態は、どこの施策にあてはまるのでしょうか。施策番号5-1ということでしょうか。
	コロナウイルス対策について	
	担当課： 健康課・環境生活課（危機管理室）	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>今回のコロナウイルスのような世界的な感染症流行への対応については、施策5-1「いざというときに備えるまちづくりの推進」が該当します。</p> <p>施策5-1の現状と課題に、新型コロナウイルスについてのより詳細な記述を追加いたしました。</p> <p>なお、一般的な感染症対策としては、施策3-1「誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくりの推進」において、感染症予</p>

		防やからだの健康保持に関する知識の普及啓発を行います。
番号	該当箇所	質問・意見内容
5	施策：5-2-2	<p>①今回の新型コロナウイルスへの対応を踏まえて、情報発信についてだけでなく、医療用品等の備蓄や市立病院での対応なども再度考えていく必要があると思われます。そして、市立病院に呼吸内科専門医をぜひ常駐していただきたいと思います。また市立病院ではコロナ対策を実際どんな事をしていたかも教えて頂きたいです。</p> <p>②小中高校生へ出前授業としてコロナについての説明を行うなど、子供達が自分の身を守ることによって、周りの身を守ることにつながることを伝えていただければ勉強になると思います。</p>
	市立病院でのコロナ対策及びコロナ対策出前授業	
	担当課： 市立病院	<p style="text-align: center;">(①について) 質問・意見への回答</p> <p>市立病院での新型コロナウイルスの対応について、医療用品等の在庫については、契約業者等からの入荷時期未定の状態であるため、サージカルガウンや手術用等手袋、手指消毒用アルコール等の在庫量が特に少ない状況が続いている一方、マスクやアルコール消毒液等については、県や市からの緊急配布等のほか、市内事業者等からの善意の寄附・寄贈により遣り繰りできている状態にあります。</p> <p>呼吸器内科医については、現在、山大等からの外来派遣医師による診療を行っておりますが、常勤医の配置について、大学医局に対して従前同様引き続き要望してまいります。</p> <p>また、コロナ対策については、患者さんの不安の解消と感染拡大防止を図る目的で、以下のことを行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院患者の面会を原則禁止（2/27～）。 ・慢性疾患等で定期受診している方で主治医が可能と判断した方に限り電話による診療（4/1～）。 ・緊急性のない手術や内視鏡検査等の先送り（4月～）。 ・全ての来院者（業者含む）への手指消毒や健康チェック等、入口での感染防止対応（4/10～）。 ・人間ドック2日コースの中止（4/13～）。 ・総合案内カウンター等への感染防止フィルムの設置（5/8）
	担当課： 健康課	<p>新型インフルエンザ等の感染症の流行に備え市民、事業所等に対し平常時にマスクや手指消毒液等を備蓄しておくよう周知・啓発を行うことが必要だと考えています。特に消毒液に</p>

		<p>は使用期限があることから、各家庭や施設において各自で必要相当量を備蓄し、インフルエンザの流行期等に消費していくような備蓄の仕方、回転備蓄について市民や事業所等に奨励及び啓発を行います。</p> <p>意見を踏まえ、5-1-4「災害時等における適切な情報の発信」に、以下の施策での取組を追加いたします。</p> <p>○新型の感染症の流行に備え市民、事業所等にも衛生用品等を平常時に備蓄しておくよう周知・啓発を行います。</p>
	<p>担当課： 健康課・ 学校教育課</p>	<p>(②について) 質問・意見への回答</p>
		<p>児童生徒に対しては、新型コロナウイルスに関する正しい知識や対策について、発達段階に応じた指導を行っています。</p> <p>また、学校では教科ごとに感染拡大防止の観点からリスクの高い学習活動を行わないなどの感染防止対策をとっているところです。</p> <p><リスクの高い学習活動例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽科における狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体の接触を伴う活動 ・家庭科における調理などの実習 ・体育科・保健体育科における児童生徒が密集する運動や児童生徒が近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い運動 ・児童生徒が密集して長時間活動するグループ学習 ・運動会や文化祭、学習発表会など児童生徒が密集して長時間活動する学校行事 <p>さらに、給食を提供する際には、特に手洗いの徹底を図るとともに、当面の間は配膳の過程での感染防止のため、可能な限り品数の少ない献立に変更しており、食べる際には机を向かい合わせにしないことなどの工夫がなされているところです。</p> <p>このように学校においては、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しており、児童生徒は学校生活において新型コロナウイルスの感染リスクについて学び、自らの実践を通じて対策方法を体得しているものと考えております。出前授業については考えておりませんが、今後も児童生徒の感染拡大防止に向けた取組を推進してまいります。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
	施策：5-2-2	ネット社会特有の犯罪や、いじめなど青少年を取り巻く環

6	ネット犯罪やいじめについて	境が変わっている昨今、ネット犯罪やいじめなどを防止する対策は必要だと思います。
	担当課： 環境生活課	<p style="text-align: center;">(ネット犯罪について) 質問・意見への回答</p> <p>ネット社会特有の犯罪として、架空料金請求詐欺をはじめとする特殊詐欺等への対応が求められています。施策での取組 5-2-3「消費者被害の防止と消費者教育の推進」に記載のとおり、特殊詐欺を含めた消費者被害の防止に向け、情報の周知や啓発活動を関係機関と連携しながら行います。</p>
	担当課： 学校教育課	<p style="text-align: center;">(いじめについて) 質問・意見への回答</p> <p>市では、「米沢市いじめ防止基本方針」において、インターネット上のいじめも含めたいじめ防止対策を推進しています。2章においても、不登校やいじめ等の未然防止について記載しています。</p> <p>ご指摘のとおり、近年、携帯電話・スマートフォンやパソコン等を通じて、インターネット上のウェブサイトの掲示板などに、特定の児童生徒の悪口や誹謗・中傷を書き込む等のインターネット上のいじめの危険性が指摘されています。インターネット上のいじめ対策としましては、保護者と教師が子どものICT利用実態を把握し、その実態把握をもとに、情報モラル教育を充実させることで未然防止対策に取り組んでまいります。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
7	施策：5-2-2	必要に応じて防犯カメラ設置検討とありますが、この「必要」とは要望からのものなのか、必要性からのものなのか、その中味を教えてください。そして設置の数値ならびに目標値は、示せるのでしょうか。
	防犯カメラ設置について	
	担当課： 環境生活課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>道路上の「防犯カメラ設置検討」は、防犯協会各支部等の関係団体からの要望を受けて、その必要性を警察当局や周辺住民の皆様とも充分協議して判断したいと考えています。</p> <p>なお、防犯カメラの設置については、地域を見守る目として人の目で不十分なところを補う手段であり、防犯上の有用性は高いと考えられるものの、維持管理手法、コストや地域住民の理解、個人情報保護などクリアすべき課題も多いと考えており、そのため設置の数値ならびに目標値を設定するのはなじまないと考えますのでご理解くださいますようお願い申し上げます。</p>

番号	該当箇所	質問・意見内容
8	施策：5-3-2	除雪車運行管理システムの実証試用とはどのようなものか教えてください。
	除雪車運行管理システムについて	
	担当課： 土木課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>「除雪車運行管理システム」とは、除雪車両等にGPS端末を搭載し、位置情報や運行状況のデータを取得することで、除雪日報や除雪費集計等の帳票出力が行えるほか、パソコンで除雪作業状況をリアルタイムに確認できるため、市民からの問合せ等に対して迅速な対応が可能になるものです。</p> <p>このシステムの本格導入に向けて実施しているのが、実証試用になりますが、一部の除雪委託業者へ協力を依頼し、GPS端末を搭載した除雪車両等で除雪作業等を行うことで、本市に適したシステム機能の把握や本システムを導入することで得られる効果、課題などを検証するものです。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
9	施策：5-3-5	<p>毎年12月～3月まで除雪ボランティアセンターを立ち上げ、近隣での除雪支援や学生などの除雪ボランティアの協力を得て支援しています。近年、県外の除雪ボランティア参加者が増えており、豪雪地区で活動しています。</p> <p>そこで、ボランティア活動を広めるためにも「除雪ボランティア活動」の文言を一言加えていただければありがたいです。ご検討をよろしくお願いいたします。</p>
	除雪ボランティアについて	
	担当課： 総合政策課 高齢福祉課 土木課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>意見を踏まえ、施策5-3の「現状と課題」○3つ目に下線部分を追加します。</p> <p>○このような中、本市では平成30年5月に雪対策総合計画を策定し、効率的な除排雪体制の推進や計画的なハード整備等により雪に強く住みよいまちづくりを推進するとともに、高齢者・障がい者等が冬期間も安心して生活できる体制づくりや、市民協働による雪処理の担い手確保雪処理の体制づくりなどに取り組んでいます。</p> <p>また5-3-5「安心して生活できる体制づくり」に、以下の施策での取組を追加いたします。</p> <p>○<u>除雪ボランティア活動の継続支援やオペレーター勉強会等を行い、雪処理の担い手確保を図ります。</u></p>
番号	該当箇所	質問・意見内容

10	施策：5-3	米沢でも中心部とそうでない場所によって除雪の差が大き いように感じます。私は雪の生活をしたことがない所から米 沢に来ましたが、雪道運転の大変さに毎年泣かされています。 雪の無い所から来た方が安心して暮らせるような市にして いただきたいです。除雪についてなどの説明等についても移住 者向けにやってみてもいいかと思ひます。(警察の方と合同 で、運転についてなど)
	除雪及び移住者向け雪 対策について	
	担当課： 土木課	(除雪について) 質問・意見への回答
		本市では、冬期間でも市民が安心して道路を利用できるよ うに、降雪時の早朝・日中除雪のほか、ザケ取り除雪、道路幅 員や見通しを確保するための排雪、坂道や橋梁等への凍結防 止剤散布などの対策を行っているところですが、今後も状況 に適した丁寧な除排雪を行うよう努力してまいりますので、 御理解くださいますようお願いいたします。
担当課： 総合政策課	(移住者向けの雪対策について) 質問・意見への回答	
	豪雪地帯の本市で暮らすには、特に雪国の生活に慣れてい ない移住者の方々にとって、除雪方法も含め雪に関する情報 が不可欠であると思ひます。 市では冬の生活に関する各種情報をホームページ上に「冬 の生活ガイド」としてまとめており、雪についてのお問合せを いただいた際には、当該ページを紹介しております。 今後も、様々な分野の関係団体とさらに連携を図りながら、 5-3-5に記載している地域共助による雪対策を強化し、移住者 の方がより安心して生活できる体制を作ってまいります。	